

就農状況報告(独立・自営就農)
 経営開始 年目・交付開始 年目 (~ 月分)

※下線部は、交付が終了した後は「交付終了後〇年目」とする。

令和 年 月 日

南九州市長

殿

氏名

新規就農者育成総合対策実施要綱（令和4年3月29日付け3経営第3142号農林水産事務次官依命通知）別記2第6の2の（6）の規定に基づき就農状況報告を提出します。

※下線部は経営開始資金の場合は「2の（6）」とする。

1. 独立・自営就農（予定）時期（どちらかにチェックする。（就農準備資金の交付を受けた者は必須。経営開始資金のみの交付対象者の場合は記載不要。））

☐	既に就農している	年 月 日就農
☐	まだ就農していない ※	年 月 日就農予定

※まだ就農していない場合は、以下の欄は記入不要

報告期間である半年分の
実績について記入すること

2. 営農実績報告

作物・部門名	作付面積（a）・飼養頭数等
合計	

報告期間である半年分の
実績について記入すること

農業経営 の構成 （交付対 象者本 人・家族 労働力）	氏名	年齢	交付対象者・ 交付対象者との続柄 （法人経営にあ たっては役職）	年間の 農業従事 日数※	担当業務
			本人		
雇用労働力		(人・日※)			

※1日の農業従事時間を8時間で換算

3. 農地

報告時点における経営耕地の規模について記入する。
経営耕地が前回の就農状況報告時から変更のある場合は、
農地基本台帳等の写しを添付すること。

経営耕地	区分		面積 (a)	
	所有地			
	借入地			
	内訳 (平成30年度以前に承認を受けた交付対象者のみ記入)	親族から		
		第三者から		
特定作業受託	作目	作業内容	実績	
			等	生産量
作業受託	作目	作業内容	実績 (作業受託面積等)	
	単純計			
	換算後			

報告期間の特定作業受託及び
作業受託の作業内容と実績に
ついて記入する。

※ 「特定作業受託」欄に、作目別に、主な基幹作業を受託する農地（申請者が当該農地に係る収穫物についての販売委託を引き受けることにより販売名義を有し、かつ、当該販売委託を引き受けた農産物に係る販売収入の処分権を有するものに限る。）の作業受託面積等、生産量を記載
「作業受託」欄に、「特定作業受託」欄に記載した作業受託以外の作業受託について、記載。
作目別、基幹作業別に、作業受託面積を記載するとともに、「換算後」欄に「作業受託面積÷作業数」により換算した面積を記載する。

4. 前年の世帯全体の所得（資金含む）*1

※経営開始資金の交付期間中の者のみ記入

万円	前年の世帯の所得証明書で確認する。
前年の世帯全体の所得が600万円を超えているにもかかわらず資金交付が必要な理由（超える場合のみ記入）	

	※本欄は交付主体の記入欄 生活費確保の観点から支援対象とすべき切実な事情の有無（☐有 ☐無） 【所見】
--	--

5. 農業経営基盤強化準備金（※）（どちらかにチェックする。）

	積み立てている
	積み立てていない

※農業者が、経営所得安定対策等の交付金を農業経営改善計画などに従い、「農業経営基盤強化準備金」として積み立てた場合、この積立額について、個人は必要経費に、法人は損金に算入できる制度。

6. 地域のサポート体制について

	専属担当者（経営・技術）	専属担当者（営農資金）	専属担当者（農地）
氏名又は 職名			

相談実績又は今後相談したいことについて

	就農状況報告期間中に、サポートチームに相談した主な内容と、今後相談していきたいと考えていることについて記載する。
--	---

7. 報告対象期間における都道府県主催の新規就農者等交流会（※）への参加について（どちらかにチェックする。）

※要綱別記2の第7の2の（12）に規定する都道府県が開催する新規就農者等の交流会

	参加した
	参加しなかった

（「参加した」にチェックした場合は以下も記載する。）

参加した回数	回	
--------	---	--

交流会の内容 (対象者、実施内容など)	
------------------------	--

8. 農業共済その他農業関係の保険への加入状況について
(どちらかにチェックする。)

加入している	ハウス等の施設を所有する場合、園芸施設共済等の保険に加入しなければいけません。
加入していない	

(「加入している」にチェックした場合は以下も記載する。)

加入している農業共済等の名称	
----------------	--

9. 計画達成に向けた今後の課題と改善に向けた取組

(就農準備資金の交付対象者については別紙様式第1号の研修計画の「2 就農時に係る計画」、経営開始資金の交付対象者については青年等就農計画並びに別紙様式第2号の別添1の収支計画の達成に向けた課題、改善策及びその取組状況を記載する。)

計画達成に向けた課題	改善策 (課題解決に向けた改善策を具体的に記入)	改善策の取組状況等 (改善策の取組状況、結果及び課題の解決状況を具体的に記入)
課題、改善策、改善の取組状況は必ず記載する。		

添付書類

- 別添 1. 作業日誌の写し(夫婦型の場合は、それぞれの作業従事状況(作業日、作業内容、作業時間)が分かるよう作成すること)*2
2. 経営開始資金交付対象者は、決算書及び確定申告時の青色申告決算書(白色申告者は、収支内訳書)の写し(7月の報告の際のみ添付する。)
就農準備資金交付対象者は、確定申告時の青色申告決算書(白色申告者は、収支内訳書)の写し(7月の報告の際のみ添付する。)
3. 通帳及び帳簿の写し*3
4. 農地及び主要な農業機械・施設の一覧、農地の権利設定の状況が確認できる書類及び農業機械・施設を自ら所有し、又は借りていることが確認できる書類*3
(変更がない場合、2回目以降の報告の際は既に提出している農地の権利設定の状況が確認できる書類及び農業機械・施設を自ら所有し、又は借りていることが確認できる書類は省略することが出来る。)
5. 農業経営改善計画又は青年等就農計画認定書の写し*4

別添 1

作業日誌

日付・作業内容・作業時間が分かる書類であれば、様式は自由です。
夫婦や法人など共同申請者がいる場合は、それぞれの作業内容・時間が分かるように作成してください。

		作業時間 (単位：時間)
月	日	
月	日	
月	日	
月	日	
月	日	
月	日	
月	日	
月	日	
月	日	
月	日	
月	日	
月	日	
月	日	
月	日	
月	日	
月	日	
合計		

作業時間にカウントできる活動は、自身の農業生産とみなすものに限り、そのため、下記内容は作業時間に含めないようにご注意ください。

- 作業時間に含めない事例**
- ①親等の農作業手伝い
 - ②収穫等のアルバイト
 - ③本事業の現地確認立ち合い
 - ④地域の清掃活動
 - ⑤部会の旅行 等

①や②の活動をしてはいけなわけではなく、自身の営農を優先して取り組む必要があります。

※ 上記内容が記載された作業日誌であれば、本様式に限らない。

決算書は、7月の報告の際のみ報告
前年の1～12月の収支を記載する

決 算 書

年目R 年1月～R 年12月)

			計画※ 経営開始 年目 a	実績 b	実績/計画 b /a
農 業 収 入		経営規模 (a)	計画欄は当初計画で該当する年分を記載 実績欄は前年の申告書の数字と合わせて記載		
	計画書から作目 ごとに記入	生産量 (kg)			
		売上高 (円)			
			経営規模 (a)		
		生産量 (kg)			
		売上高 (円)			
		経営規模 (a)			
		生産量 (kg)			
		売上高 (円)			
		経営規模 (a)			
		生産量 (kg)			
		売上高 (円)			
		経営規模 (a)			
		生産量 (kg)			
		売上高 (円)			
	その他				
経営開始資金 (円)					
収入計 (資金を除く) ①					
収入計 (資金を含む) ②					

		計画※ 経営開始 年目 a	実績 b	実績/計画 b/a
農 業 経 営 費 (円)	原材料費	計画欄は当初計画で該当する年分を記載 実績欄は前年の申告書の数字と合わせて記載		
	減価償却費			
	出荷販売経費			
	雇用労賃			
	ない項目は追加してください			
支出計③				
【参考】設備投資 (内容、金額)		自分で購入した機械・設備等があれば記載		
農業所得計 (円) ④=①-③				
農 外 所 得 (円) ⑤			総所得(資金含む) (円) ②-③+⑤	

※計画欄には、別紙様式第2号の別添1の収支計画に記載の当該年の計画値を記載すること

作付け状況計画表

【記入例】

		令和 年 (今年)												令和 年 (来年)																													
(記入例)		3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月			4月		
		上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下						
ハウス	① 連 m m 品目(オクラ) 品目()	[]												○																													
	② 連 m m 品目(a) 品目()	ほ場毎に作付け計画をご記入してください！！																																									
露地	露地 1 品目(20 a スナップ) 品目(オクラ)	○			[]									○			[]																										
	露地 2 品目(12 a ソラマメ) 品目()													○			△			[]																							
	露地 3 品目(20 a オクラ) 品目(スナップ)	○			[]									○			[]																										
	露地 4 品目(a) 品目()																																										
	露地 5 品目(a) 品目()																																										

○ 作付け状況表の記入方法について

1 ハウスごと、露地(ほ場)ごとに現在作付けされている品目・面積を記入する。

2 それぞれ播種した時期に ○ を記入し、定植した時期に △ , 収穫する期間に [] を記入する。

※ この作付け状況計画表を使って個別経営検討を行いますので、必ず記入して来てください。

播種: ○ △: 定植 [] : 収穫

就農状況報告追加項目調査票（記入例）

対象者名：南 太郎

収穫途中の場合は、どの時期まで収穫する予定かを御記入下さい。

1 作物(畜種)別実績

期間：1月～6月 7月提出：1～6月，1月提出：7～12月

作物（畜種）名	生産量	売上額	作期	ほ場	備考
オクラ	1,800kg	990,000円	植付 3月上旬 収穫 4月上旬～9月末		
スナップ	450kg	283,500円	植付 9月下旬 収穫 11月下旬～2月末		
○ 7月提出：1～6月，1月提出：7～12月までの実績を記入して下さい。 ○ 別紙様式 9-1 号の「営農実績報告」に記載した作物と整合性をとること。			～		
			植付 収穫	～	
			植付 収穫	～	

ほ場の大字名を御記入下さい。

2 地域での活動等

○ 地区の環境整備作業（畑の草刈り），消防団，地区夏祭りの手伝い

当該期間において、参加した地域の行事等がある場合は御記入下さい。